

◎ 第94回定例研究会

5月16日(金)

於:静岡県評会議室

平均年齢 30歳の組合結成

報告者:野村昭二氏(化学一般 東海地本 委員長)

●大王パッケージ(株)の概要

2013年4月、中部大王製紙パッケージ株式会社を含む6社が合併し、大王パッケージ株式会社となりました。資本金は3億1千万円、従業員数は770名、事業内容は段ボール製品の製造・販売です。大王パッケージ株式会社の中部事業部として、静岡工場・菊川工場・長野工場があります。親会社は大王製紙(株)であり、2011年には元会長への巨額な貸し入れ問題が明らかとなりました。

●組合結成の契機

昨年、東海大王製紙パッケージ(豊橋市)から大王パッケージ(長野工場:下伊那郡)へ製造機械を移設することに伴い、長野工場から若い労働者が豊橋に研修に来ていました。その労働者が東海大王製紙の組合役員と知り合い、話をしているうちに、長野工場の実態・残業時間・作業員に対する働き方が異常なことだということを知りました。そして長野工場の働き方を改善したいと、同僚に働きかけました。ほとんどは20代・30代の労働者で、地元からの中途採用者です。

●職場の問題点

職場では長時間労働が横行していました。「月100時間を超える時間外労働」「ラインによっては朝8時から夜中までの残業」「月に1回、朝8時から翌朝10時まで徹夜労働」などがあげられました。

また管理職によるパワハラや「精神論」での高圧的な指導がされ、不満を口にできない職場に会社を辞めていく人も多くいました。

そのため操業体制に見合った人員確保もなく、一人当たりの仕事は余裕がなく、労働災害が多発していました。

賃金実態については、明確な給料体系(人事評価級)もなく、低賃金のため生活していくには残業で稼がなければ生活できない状況です。

●結成に至る経過

化学一般の東海地本と長野の下伊那地区労連が支援し、昨年11月に最初の組合説明会が開催され、その後、数回にわたり学習会や職場討議を行いました。その都度、愛知や静岡から役員が支援に向きました。今年の4月に「大王パッケージ長野労働組合」(化学一般労連 東海地本)として結成大会を行い、第1回の団体交渉が行われました。

●結成時の要求

結成通知時の要求は次の通りです。

- ①正常な労使関係を確立すること。
- ②長野工場内に組合事務所を設置すること。
- ③生産管理面、労働時間の改善をすること。
- ④製造ラインの人員増員、定員の確保をすること。
- ⑤安全衛生委員会には組合代表を参加させること。

これらの要求に対し、現時点での会社の回答は、「労働組合法を守ります」「組合事務所は検討します」「人員増は改善します」というものです。

静岡労研に以下の本の贈呈がありました。

「日韓企業主義的雇用政策の分岐

～権力資源動員論からみた労働組合の戦略

安周永 著(ご本人よりの寄贈です)

*連絡先:〒422-8062 静岡市駿河区稲川2-2-1 コハラサウスサイドビル7F(静岡県評内)

静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

メール roudouadv@wave.wbs.ne.jp ホームページ <http://www.geocities.jp/shizuokarouken/>